

「市民協働スタートアップ補助金応募申込書」の書き方

応募様式は次の通りです。これらの他に添付書類が必要です。

- 1 富士市市民協働スタートアップ補助金交付申請書（第1号様式）
- 2 事業概要調書（第2号様式）
- 3 団体概要調書（第3号様式）

◆ 「富士市市民協働スタートアップ補助金交付申請書」（第1号様式）の書き方

第1号様式（第6条関係）

富士市市民協働スタートアップ補助金交付申請書

申請書類の提出日をご記入ください。
団体設立から3年を超える場合、申請
ができませんのでご注意ください。

令和 4年 6月 1日

富士市内の事務所などの住所を記載してください。また、電話番号はご担当者様などのものでも結構です。

(宛先) 富士市長

申請者

所在地 富士市〇〇町△△番地
団体名 身近な自然を未来に引き継ぐ市民の会
代表者 富士 花子
電話番号 0545-〇〇-〇〇〇〇

署名または記名押印をしてください。
※任意団体は代表者印、法人は法人印を押印してください。

富士市市民協働スタートアップ補助金の交付を受けたいので、次のとおり関係書類を添えて申請します。

交付申請額	100,000 円			
事業の名称	里山子ども探検ツアー事業			
事業の概要	失われつつある里山の魅力を子どもたちに伝えるため、市内の小学生を対象に、年間を通じて里山と触れ合うプログラムを開発し、昔からの里山のくらしを体験したり、多様な自然に親しむ機会を設けて、子どもたちの豊かな情操を培おうとする。			
事業経費	総額	市補助金	自己負担	その他
	170,500 円	100,000 円	50,500 円	20,000 円
着手予定日	令和 4年 6月 15日			
完了予定日	令和 4年 3月 15日			
添付書類	(1) 定款、規約、会則 (2) 会員名簿 (3) 直近の総会資料（予算又は最新の決算書類） (4) 昨年度事業のチラシ			

事業の名称は、「事業概要調書」（第2号様式）の「事業の名称」と同じ名称にしてください。

事業の概要は、「事業概要調書」（第2号様式）の「事業の目的」及び「事業の内容」にて詳細を説明してください。

総額＝市補助金＋自己負担＋その他となるようにご記入ください。

着手予定日は申請日以降に、完了予定日は交付の年度内に設定してください。なお、完了日の時点で設立から3年が経過する場合は申請することができません。

定款、規約、会則等の添付は必須です。その他添付書類については、必要に応じて記載してください。
例) 会員名簿：様式内の名簿では足りない場合
総会資料：団体収支の詳細を報告する場合など

◆ 「事業概要調書」(第2号様式)の書き方

この「事業概要調書」は、補助金の申請事業について、市がその目的や事業内容、期待される成果、活動経費、補助金要望額、そして補助終了後の展望などを総括的に知るために提出していただく書類です。補助金交付対象事業選定の拠りどころとなる重要なものですので、しっかりと記入してください。

第2号様式(第6条関係)

事業概要調書

事業の名称	里山子ども探検ツアー事業	
申請の理由	団体設立し半年ほど事業を実施したが、増加していく参加者数に会員数が見合わず、十分な運営ができなかった。会員増加のための広報のため、また、事業を継続し本会の目的である里山保護をより多くの子どもたちに啓発するためにも、補助金を申請する。	
事業の目的	古来より里山は人々の生活に欠かせない存在として、またその自然は多くの生き物を育む母体として人や動植物の調和のとれた関係を築いてきた。失われつつあるそうした里山の魅力を、次代を担う子ども達に伝えていくことが本事業の目的である。	
事業の内容	<p>広大な富士山の裾野を持つ富士市には多くの雑木林が点在しているが、宅地開発によって年々その数は減ってきている。また、子どもたちの遊びも屋外で自然と触れ合う機会が減ってきている。そこで、市内の小学生を対象に、年間を通じて里山(雑木林)と触れ合うプログラムを開発し、昔からの里山でのくらしを体験したり、多様な自然に親しむ機会を設けて、子どもたちの豊かな情操を培おうとするものである。</p> <p>このように、本事業は里山保護についての一時的な啓発ではなく、参加者との主体的な関わりや体験によって、子どもたちの意識の醸成に働きかけるものであり、市内には類のないものであると自負している。また、青少年育成や環境保護、健康づくりといった多様な分野に重なる本事業は、多くの賛同者を得ることができ、事業の裾野が広がる見込みが大きいと考える。</p> <p>・実施場所：〇〇山(富士市×000-000)、◆◆川、■公園 ・実施日：6月～3月 毎月第3土曜日 ・対象者：市内在住の小学生及びその保護者</p>	
事業スケジュール	月	事業の具体的な内容
	6	「昆虫達と遊ぼう」
	7	「せせらぎ探検」
	8	「里山キャンプ」
	9	「秋の実りを満喫」
	10	「どんぐりを使った遊び大集合」

事業の名称は、「交付申請書」(第1号様式)と同じ名称にしてください。

申請の理由は、補助金を申請するに至った背景や使用目的(何のために補助金を使用するのか)を記入してください。

事業の目的は、「何のための活動か」が分かるように、「～することが目的である。」という表現で記入してください。
 ※団体の設立目的や、団体に資するための目的ではなく、補助金交付の対象となる事業活動を行う目的(公共的な目的)を記入してください。

事業の内容は、「事業の目的」を達成するために行う事業内容(事業手段)を具体的に記入してください。

事業の独自性、団体が行うことの強みなど、アピールできるポイントも併せて記入してください。

実施場所や実施時期、対象者等も併せて具体的に記入してください。

・この活動スケジュールは、「事業の内容」を個々の活動レベルで明確にしようとするものです。
 ・年間を通じて行う事業の場合は、個々の活動ごとに年月を入れて具体的に記入してください。
 ・この活動スケジュールは、団体の年間計画ではなく、あくまでも補助金交付の対象となる事業活動について記入するものです。団体全体のスケジュールを記入する必要はありません。

	1 1	「野鳥ウォッチング」		
	1 2	「焼いも大会」		
	1	「星空観察会」		
	2	「炭焼き体験とバーベキュー」		
	3	「成果発表会・解散式」		
		それぞれ準備等も含む		
事業により期待される成果	小学生とその保護者を参加者とし、遊びや学習体験を通じて里山に触れる機会を提供することで、子どもたちが里山を身近な存在として捉えられるようになる。地域資源の愛護精神を育むほか、講師として招く地域人材との交流により、地域コミュニティの世代間ネットワークの構築に繋がる。			
事業の協力団体等	〇〇地区、××地区まちづくり協議会（講師派遣・会場提供等） こども健全育成の会（運営協力）、アウトドアショップふじ（器材借用）			
補助事業完了後の活動内容（予定）	実施した事業そのものが宣伝となるため、参加者の増加を見込んでいる。そのため、補助終了後は実施回数を増やし、より多くの子どもたちが里山に親しめるように試みる。また、里山での体験学習に加え、林業に携わる方や地域人材を講師とした室内体験、成人を対象とした事業の実施も検討している。資金については、民間の助成金や寄附金、会員増による会費収入によってまかなうことを検討している。			
事業経費	収入	区 分	金額（円）	算出根拠等
		自己資金	50,500円	
		（うち 会費）	(36,000円)	200円×18人×10ヶ月
		（うち 寄附金）	(14,500円)	
		市補助金	100,000円	市民協働スタートアップ補助金
		その他	20,000円	参加費 500円×40人=20,000円
		合 計	170,500円	

欄が足りない場合は、欄の追加または別紙への記載をお願いします。

事業により期待される成果は、公共性や公益性など、補助の対象として不可欠な要素を判断するために重要となるものですので、具体的に記入してください。

事業の実施や準備にあたり、協力を得る団体をご記入ください。法人格の有無や、営利/非営利などに関係はありません。また、「会場提供」など、協力の内容も可能な範囲で記入してください。

補助対象期間の終了後、事業をどのように進めていくかの計画をご記入ください。また、どのようにして事業拡大や継続のための事業費を獲得するかについても記入してください。

収入は、事業参加料、協賛金、寄附金、市の補助金（本補助金）などを記入してください。金額の算出根拠についても、その明細を記入するようにしてください。収入の部の合計と、支出の部の事業費計は一致するようにしてください。
※本補助金以外に、他の補助制度により国または他の地方公共の団体、民間団体から補助金を受ける場合は、他の公的補助金等を除いた経費合計額が補助対象経費となります。

市補助金欄の金額は、第1号様式の「交付申請額」及び「事業経費」の市補助金と一致するようにしてください。事業費が20万円を超える場合でも、補助金額は10万円が上限になりますので、ご注意ください。

<p>事業経費は、補助金交付の対象となるものについて記入してください。(団体の全体運営費等の対象外経費を含まないようにご注意ください。)</p> <p>※団体の全体運営費は、「団体概要調書(第3号様式)」の「団体の収支明細」欄に記入してください。</p>	<p>支出</p>	報 償 費	6,000 円	講師 1 名×3,000 円×2 回
		旅 費	2,000 円	講師 1 名×1,000 円×2 回
		消耗品及び原材料費	57,200 円	筆記用具・文具 25,000 円 炭 5,000 円 木材 12,000 円 塗料など 8,000 円 その他 7,200 円
		印 刷 製 本 費	30,000 円	チラシ印刷費 10 円×3,000 枚
		通 信 費	32,800 円	切手代 82 円×400 枚
		使用料及び賃借料	17,500 円	施設利用料 8,000 円×2 回 冷暖房費 750 円×2 回
		備 品 購 入 費	25,000 円	電動ノコギリ 1 台
		合 計	170,500 円	

事業経費は、補助金交付の対象となるものについて記入してください。(団体の全体運営費等の対象外経費を含まないようにご注意ください。)

※団体の全体運営費は、「団体概要調書(第3号様式)」の「団体の収支明細」欄に記入してください。

備品購入費を計上する場合は、見積書を添えて「備品購入理由書」(様式自由)の提出が必要となります。

「合計」は、収入の部の合計額と同一の金額を記入してください。

収入の部・支出の部ともに算出根拠等を具体的に記入してください。

支出は、事業に直接必要な経費を計上してください。

事業に直接必要な経費とは、講師等謝金、交通費、原材料費、印刷製本費、イベント会場使用料などが含まれます。詳しくは、募集要領の3ページ、[補助対象経費]を参照してください。

懇親会のための飲食代や、補助金交付決定日以前の経費、按分の出来ない経費は対象外ですので、ご注意ください。

◆ 「団体概要調書」(第3号様式)の書き方

この「団体概要調書」は、補助金の申請団体の概要や、設立の目的、主な活動内容、収支予算(決算)、今後の展望などを知るために提出していただく書類です。補助金交付対象事業選定の参考となる調書ですので、「事業概要調書」とあわせてしっかりと記入してください。

第3号様式(第6条関係)

団体概要調書

団体の名称	身近な自然を未来に引き継ぐ市民の会		
団体の概要	所在地	富士市〇〇町△△番地	
	代表者名	富士 花子	
	電話番号	0545-〇〇-〇〇〇〇	
	ウェブサイトのアドレス	http://www.000.000.jp	
	設立年月日	令和 3年 10月 3日	
	団体会員数	18人	
設立の目的	富士山の南麓に広がる自然は、この地域に暮らす人々に豊かな恩恵をもたらしてきた。身近な自然が少しずつ消えていく中で、これらの自然を地域住民の共有財産としてとらえ、一市民としてできる範囲で自然を守り、未来に引き継いでいこうとするのが本会の目的である。		
主な活動内容	(1) 市内に点在する里山・雑木林の調査研究		
	(2) 自然観察会・野鳥観察会の企画実施		
	(3) 富士南麓周辺のトレッキングの企画実施		
	(4) 子どもを対象にした環境教育活動の企画運営		
	(5) 市民を対象とした講演会等の企画運営		
会員名簿	役職	名前	住所
	代表	富士花子	富士市〇〇町△△番地
	副代表	駿河太郎	富士市□□町▽▽番地
	会計	富士次郎	富士市〇〇町〇番地
		吉原一子	富士市**町**番地
	岩本梅夫	富士市*〇町□□番地	

団体の正式名称を記入してください。法人の場合は、NPO法人、財団法人、社団法人、社会福祉法人、株式会社などの区別をつけてください。

団体の所在地、代表者の氏名のほか、団体の連絡先の電話番号を記入してください。
ウェブサイトのアドレスは、ホームページやブログなどを備えている場合にご記入ください。
また、団体の設立年月日と申請書類提出日現在の会員数もあわせて記入してください。

設立の目的は、団体の定款や会則などに記されている「設立目的」を記入してください。

主な活動内容は、団体の事業計画書などに記されている活動内容を簡潔に記入してください。

代表者や会計など、役職を明記してください。
また、富士市に在住・在勤・在学する方が5名以上所属する必要がありますのでご注意ください。こちらの欄が足りない場合は、別途会員名簿を添付してください。

<p>活 動 実 績</p>	<p>令和3年10月3日の設立から、市内の小学生を対象に以下の事業を実施した。</p> <p>「どんぐりを使った遊び」10月 12名</p> <p>「野鳥ウォッチング」11月 20名</p> <p>「焼いも大会」12月 25名</p> <p>「星空観察会」1月 18名</p> <p>「バーベキュー」2月 24名</p> <p>「成果発表会・解散式」3月 25名</p>	<p>これまでの活動実績を詳しく記入してください。設立から間もなく、活動の実績がない場合は、その旨を記入してください。また、前身団体などとしての活動実績がある場合は、その内容を記入してください。</p>
<p>団 体 の 課 題</p>	<p>団体設立からおよそ半年が経ち、口コミ等やSNSにより参加者は少しずつ増加しているものの、団体運営に携わるメンバーが増えず、事務や事業運営に役員が忙殺されているほか、会員の個人負担も増加している。また、参加者をさらに増やすためにも広報力が課題である。</p>	<p>これまでの活動を通じて直面している、団体としての課題をご記入ください。申請する事業以外についての課題も記入してください。</p>
<p>団 体 の 展 望</p>	<p>「里山こども体験ツアー」は主に小学生とその保護者を対象としているが、さらに、講演会や展示、トレッキングを実施することで中高生や成人をターゲットとした里山保護の啓発活動を試みる。また、市内の環境保護団体や健康サークル等とのコラボレーションにより、里山保護の意識拡大をさらにはかる。</p>	<p>団体全体としての、今後の活動の方針や計画を記入してください。</p>
<p>当年度の活動計画</p>	<p>「里山こども体験ツアー」に加え以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内里山の状況調査 通年 ・里山清掃活動 随時 ・自然観察会、野鳥観察会 6月・11月 ・富士のふもとトレッキング 10月 	<p>補助金交付申請事業以外の事業も含み、団体としての活動全体の計画を詳しく記入してください。</p>

団体の 収支明細	収入の部		支出の部	
	区分	金額(円)	区分	金額(円)
最新の予算 又は決算の 状況を記入 してください。 (4)年度 予算 決算	会費収入	50,000	報償費	10,000
	寄附金	66,000	旅費	4,000
	事業収入	70,000	消耗品費・原材料費	80,000
	スタートアップ補助金	100,000	燃料費	2,000
			食糧費	2,000
			印刷製本費	40,000
			光熱水費	3,000
			通信費	50,000
			保険料	25,000
			使用料	20,000
			備品購入費	50,000
	収入合計	286,000	支出合計	286,000

この収支明細は、団体の年間運営費（収入・支出の合計は一致）を記入してください。補助金交付対象の事業経費については、「事業概要調書」（第2号様式）に記入しますのでご注意ください。
 ※前年度決算がある場合は、そちらを優先して記入してください。
 ※総会資料などにより詳細な収支予算書（決算書）があれば、添付資料として提出してください。

収支明細書が、何年度の予算または決算であるかがわかるように記入してください。

※書き方にご不明な点がある場合は、市民活躍・男女共同参画課にてアドバイスをいたしますので、お気軽にお問い合わせてください。

◆ 「備品購入理由書」(第2号様式の2)の書き方

備品(※)を購入する場合は、見積書を添付の上こちらの様式を提出してください。なお、補助の対象となる備品購入額は、対象経費の3割(補助対象経費10万円の場合、上限3万円)となりますのでご注意ください。

(※備品とは、概ね1年以上使用又は保全し、取得価格が1万円を超える物品のことを指します)

第2号様式の2 (第9条関係)

備品購入理由書

団 体 名	身近な自然を未来に引き継ぐ市民の会	事 業 名	里山子ども探検ツアー
-------	-------------------	-------	------------

購入予定備品の見積書を添付すること。

備品名(型番)	電動ノコギリXXX-123	見 積 金 額	25,000円
使用目的	間伐材を利用した工作体験や、夏季キャンプ、バーベキューなどで使用する木材を加工するため。		
使用頻度	全9回の事業のうち、5回とその準備時に使用する		
必要な理由	加工が必要な木材が大量であり、人力では限界があるため。また、団体構成員や協力者からの借用ができないため。		
事業後の取扱	次年度以降の里山子ども探検ツアーに使用する。		

備品名(型番)		見 積 金 額	
使用目的			
使用頻度			
必要な理由			
事業後の取扱			

団体名及び事業名は、交付申請書や事業概要調書、団体概要調書に記入したものと同じものをご記入ください。

見積金額は、見積書に記載されたものを記入してください。

使用目的、使用頻度、必要な理由、事業後の取扱は、備品の購入が補助の対象にふさわしいかを判断するための重要な要素となりますので、しっかりとご記入ください。